

加曾利貝塚北貝塚住居跡群観覧施設 展示改修について

昨年度行った実施設計に基づき、北貝塚住居跡群観覧施設内の展示什器等を新たに設置しました。

これまで当該施設内には、発掘調査図面等の簡易的なパネルを掲示していたのみでしたが、施設概要等の解説文を今回新たに作成しました。実物を見ながら、図・写真を含めた解説文を併せて読むことで、史跡への理解を一層深めてもらう目的で設置しました。

展示改修後、10月2・3日の博物館イベントより施設の一般公開を再開しました。

設置内容

- ・解説板什器3基（施設概要／重複する遺構／保存のための研究）

当該施設を説明する3つのテーマを設けて、文章および図・写真を使って解説しました。

- ・ガラス面へのシート貼付による補足解説グラフィック2面（竪穴住居柱復元／出土人骨）

発掘された状態だけでは一般の方がイメージし難いため、目の前にある竪穴住居跡をイラスト化し、柱を立てたイメージ図を作成しました。

また、人骨が出土した位置付近のガラス面に出土人骨の写真・イラストを配置し、貝塚が葬送の場でもあることを意識しやすくしました。

- ・床面へのシート貼付によるグラフィックデザイン8か所

当該施設の調査で出土した土器をイラスト化し、床面に配置することで土器が出土した様子をイメージしました。なお土器の一部は博物館常設展示に展示されています。

